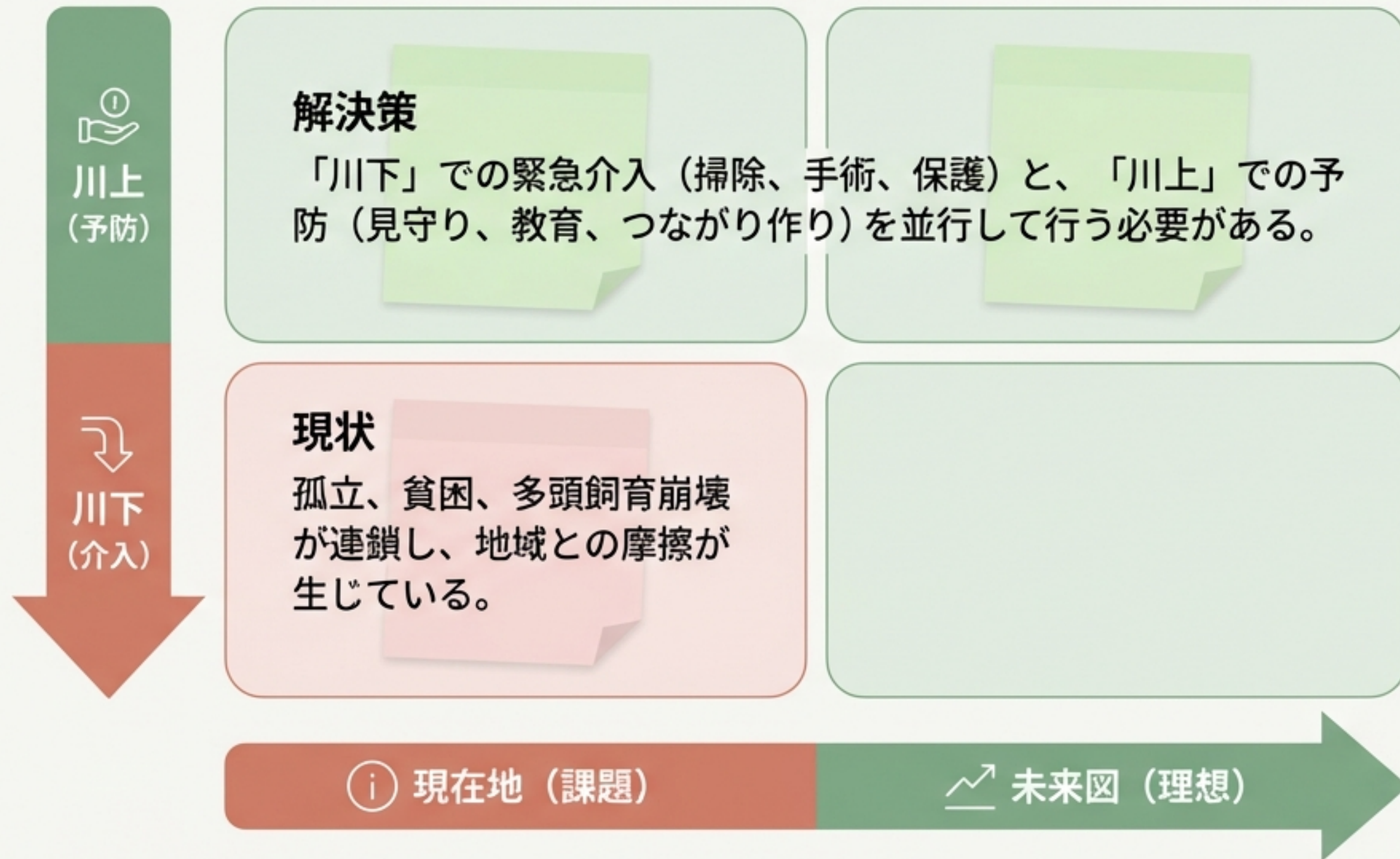


孤立から共生へ：多機関協働による地域支援戦略

課題多積層世帯への「川上・川下」アプローチ



支援の全体像：対症療法と予防のベストミックス



支援対象のプロファイル：複合する課題



心身の健康 (Health & Mind)

- 気力低下、無力感
- 健康面の懸念、自身のケア不足



生活状況 (Living Situation)

- 家の中が不衛生、ゴミ出し支援が必要
- 孤立している、頼れる人がいない
- 年金生活、借金、経済的困窮



動物・環境 (Animals)

- 猫の多頭飼育（10匹以上）、不妊去勢が未実施
- 正しい飼い方の知識がない
- 悪臭、騒音による近隣トラブル



出典：ワークショップでの付箋内容より

目指すべき未来図：「排除」ではなく「回復」

現在 (Current)



孤立



不潔



トラブル

未来図 (Future Map)



快適な生活環境、
自力で衛生を保てる



不妊手術済み、適正な頭数
(1~2匹)、猫も人も幸せ



地域で挨拶ができる、周囲と
コミュニケーションが取れる



本人の生きる意欲の回復、
自信を取り戻す



川下へのアプローチ（1）：生活環境と生活基盤の立て直し



環境 (Environment)

- 一緒に片付ける、ゴミ出し支援
- 出掛ける場所を作る



経済・制度 (Economic/Admin)

- 生活保護や各種制度の活用申請
- 金銭管理（生活の見直し）、債務整理の相談
- 転居支援（新しい住まい探し）



医療 (Medical)

- 医療機関へのつなぎ、受診同行

出典：ワークショップでの付箋内容より



川下へのアプローチ（2）：多頭飼育崩壊への介入



医療介入

- ・全頭の不妊去勢手術
- ・医療ケア、ノミ・ダニ駆除



頭数管理

- ・保護団体・ボランティアとの連携
- ・里親探し、譲渡会への参加
- ・「これ以上増やさない」ことの徹底



危機時の教育

- ・適正飼育の説明
- ・手術の必要性を説得

出典：ワークショップでの付箋内容より



川上へのアプローチ（1）：地域での見守りと早期発見



異変の察知 (Detection)

- 「見守り」活動の強化
- 郵便受けや洗濯物など、家の外観からの異変察知
- 新聞配達、ライフライン検針員との連携



つながり作り (Connection)

- ご近所付き合い、挨拶運動
- 地域の集まり・居場所づくり
- 回覧板を手渡しする

出典：ワークショップでの付箋内容より



川上へのアプローチ（2）：教育と意識醸成



教育

- 小学校での「猫の飼い方」授業
- 公民館での適正飼育講座
- チラシ配布、啓発活動



意識醸成

- 多様な価値観を尊重する地域づくり
- 動物愛護を理解している住民を増やす

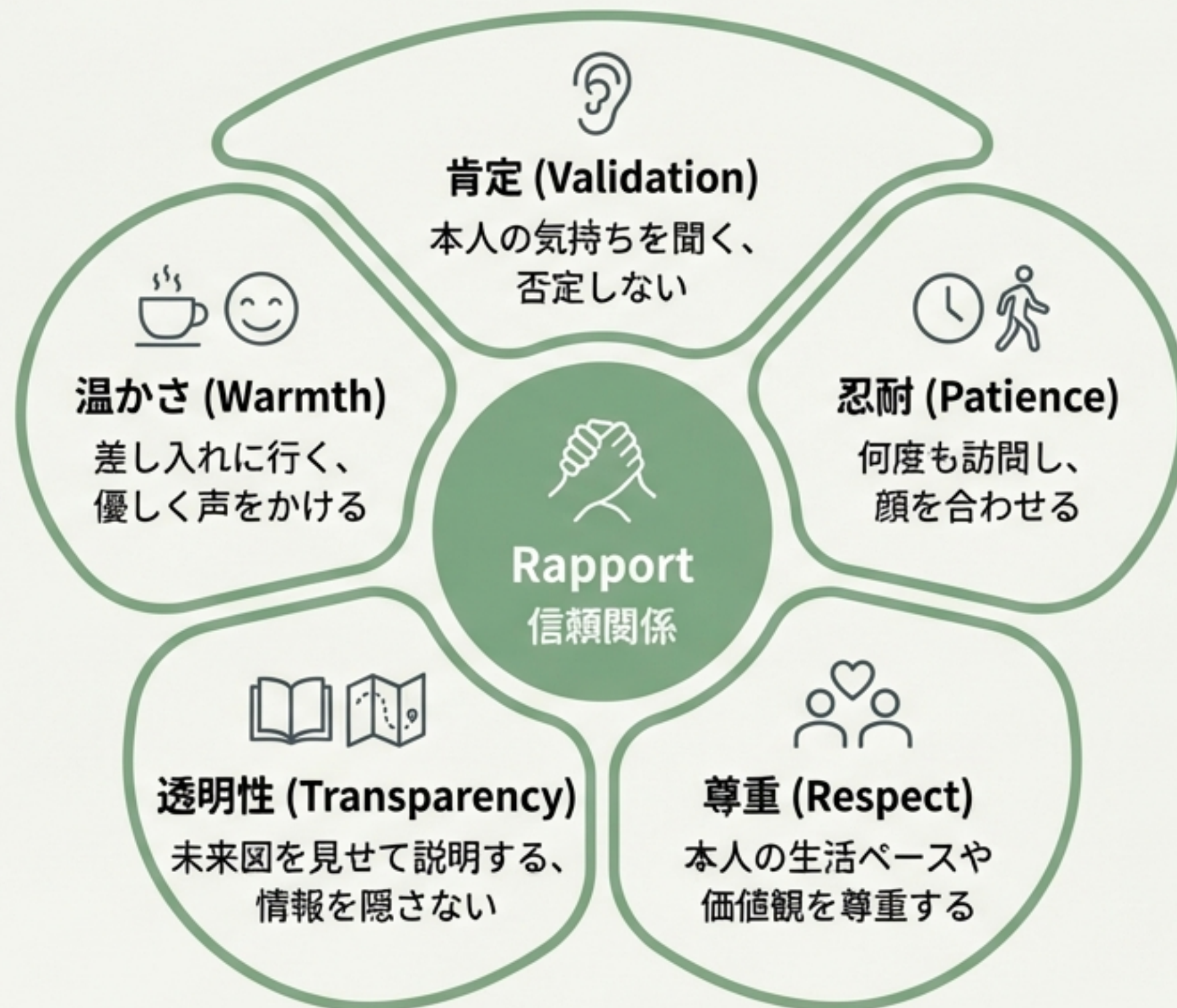


制度周知

- 不妊去勢手術の助成金制度の周知

介入の流儀：信頼関係（ラポール）の構築

「説得」ではなく「納得」を引き出すアプローチ



役割分担と連携ネットワーク

Administration & Systems (行政・社協)



- 行政：制度案内、資金援助、助成金
- 社協：地域福祉のコーディネート



Resident (本人)

Specialists (専門家)



- 獣医師・医療：動物の医療、本人の健康管理
- 民生委員：つなぎ役、相談窓口

Community (地域)



- 近隣住民：日々の挨拶、異変の察知
- ボランティア：猫の世話、清掃手伝い

支援実行のロードマップ



From Reactive to Proactive

結論：誰もが安心して暮らせる地域へ

支援のゴールは「ゴミや猫を片付けること」ではありません。
孤立していた住民が、地域のネットワークの中で「挨拶ができる関係」を取り戻し、
人と動物が共生できる持続可能な地域を作ることです。



行政・専門家・地域住民の「チーム」で支える体制を作りましょう。